



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 乾汽船株式会社
コード番号 9308 URL <https://www.inui.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 一井 聡 TEL 03-5548-8613
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月9日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	16,696	11.7	2,824	231.3	2,709	146.9	3,261	987.7
2024年3月期中間期	14,943	△43.2	852	△91.9	1,097	△90.2	299	△96.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 3,239百万円 (310.3%) 2024年3月期中間期 789百万円 (△89.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	129.89	—
2024年3月期中間期	11.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	69,606	34,614	49.7	1,377.28
2024年3月期	66,505	31,618	47.5	1,259.76

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 34,614百万円 2024年3月期 31,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	3.00	—	11.28	14.28
2025年3月期	—	6.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	105.89	111.89

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,326	9.6	1,573	△6.3	1,508	△21.3	6,824	471.1	271.52

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2 プラザ勝どきの建替えの影響等について、一定の前提を置き算出しております。前提条件等の詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	26,072,960株	2024年3月期	26,072,960株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	940,482株	2024年3月期	974,493株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	25,110,919株	2024年3月期中間期	25,066,789株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年11月22日（金）に、機関投資家向けのオンライン決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明会内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、外航海運事業におけるハンディ船市況の上昇や為替の影響等により、売上高は前年同期比1,752百万円増収(+11.7%)の16,696百万円、営業利益は前年同期比1,972百万円増益(+231.3%)の2,824百万円、経常利益は前年同期比1,611百万円増益(+146.9%)の2,709百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比2,961百万円増益(+987.7%)の3,261百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるハンディ船市況は、中東情勢の緊迫化やそれに伴う紅海航路の回避等が市況を押し上げることとなり、前年度に比して堅調な市況が続く結果となりました。

なお、当中間連結会計期間における当社グループの平均為替レートは¥153.70/対US\$ (前年同期は¥138.85) となりました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比1,948百万円増収(+18.3%)の12,623百万円、セグメント利益は前年同期比2,138百万円増益の2,098百万円となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期を下回る水準で推移し、貨物取扱量は前年同期と概ね同水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、文書保管の取扱高の増加があった一方で、連結子会社の引越業における取扱高が減少したことにより、売上高は前年同期比63百万円減収(△3.2%)の1,910百万円、セグメント利益は前年同期比42百万円増益(+39.7%)の148百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、大型オフィスの供給の影響がある一方で、企業の本社移転や出社回帰の流れによる館内増床の動きがあることから、平均空室率は低下傾向が見られます。また、東京23区の賃貸マンション市況については引き続き堅調に推移しております。

当社グループが賃貸物件を所有する月島・勝どきエリアは都心へのアクセスが良く、大型都市開発が続いていることもあり、市況は好調に推移しております。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、中期経営計画に掲げるプラザ勝どき(1987年12月竣工)の再開発計画に伴い、プラザ勝どきの立ち退き移転の推進により稼働率が減少してきていることから、売上高は前年同期比132百万円減収(△5.8%)の2,162百万円、セグメント利益は前年同期比208百万円減益(△16.3%)の1,072百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の増加等により前連結会計年度末比3,101百万円増の69,606百万円となりました。負債は、未払法人税等の増加等により前連結会計年度末比105百万円増の34,992百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比2,996百万円増の34,614百万円となりました。

この結果、自己資本比率は47.5%から49.7%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して4,970百万円増加し、18,950百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動の結果として獲得した資金は、5,738百万円(前年同期は477百万円の資金の獲得)となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益3,729百万円、減価償却費1,566百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動の結果として使用した資金は、368百万円(前年同期比82.7%減)となりました。これは主として、固定資産の取得による支出1,386百万円、固定資産の売却による収入1,054百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動の結果として獲得した資金は、47百万円(前年同期は4,427百万円の資金の使用)となりました。これは主として、長期借入れによる収入5,307百万円、長期借入金の返済による支出4,973百万円、配当金の支払額283百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(2025年3月期)の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2024年8月8日に公表した前回発表予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2025年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	当中間連結会計期間実績 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	第3～4四半期前提 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
為替レート(円/1米ドル)	153.70	150.00
燃料油価格(米ドル/MT)	614.01	581.32

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,252	19,261
営業未収金及び契約資産	1,506	1,173
繰延及び前払費用	723	493
貯蔵品	1,312	1,121
その他	2,830	1,733
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,625	23,783
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	15,439	14,314
建物及び構築物(純額)	10,259	10,307
土地	1,133	1,133
信託建物及び信託構築物(純額)	3,300	3,235
信託土地	204	204
建設仮勘定	8,674	9,647
その他(純額)	614	571
有形固定資産合計	39,626	39,414
無形固定資産	130	98
投資その他の資産		
投資有価証券	4,324	4,526
退職給付に係る資産	11	5
その他	1,795	1,787
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,122	6,310
固定資産合計	45,879	45,823
資産合計	66,505	69,606

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,865	1,728
短期借入金	2,710	2,710
1年内返済予定の長期借入金	7,682	3,349
未払法人税等	6	494
契約負債	346	134
賞与引当金	100	103
その他	543	589
流動負債合計	13,254	9,109
固定負債		
長期借入金	18,281	22,467
退職給付に係る負債	69	71
受入保証金	1,337	1,369
特別修繕引当金	730	755
その他	1,212	1,217
固定負債合計	21,632	25,882
負債合計	34,887	34,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,668	11,674
利益剰余金	16,763	19,742
自己株式	△953	△919
株主資本合計	30,246	33,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,385	1,477
繰延ヘッジ損益	△13	△128
その他の包括利益累計額合計	1,371	1,349
純資産合計	31,618	34,614
負債純資産合計	66,505	69,606

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	14,943	16,696
売上原価	13,305	13,108
売上総利益	1,638	3,588
販売費及び一般管理費	786	763
営業利益	852	2,824
営業外収益		
受取利息	144	150
受取配当金	55	64
為替差益	238	—
その他	14	21
営業外収益合計	453	235
営業外費用		
支払利息	186	192
為替差損	—	89
その他	22	70
営業外費用合計	208	351
経常利益	1,097	2,709
特別利益		
固定資産売却益	1	1,020
特別利益合計	1	1,020
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	1,098	3,729
法人税、住民税及び事業税	733	462
法人税等調整額	65	4
法人税等合計	798	467
中間純利益	299	3,261
親会社株主に帰属する中間純利益	299	3,261

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	299	3,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	452	92
繰延ヘッジ損益	37	△114
その他の包括利益合計	489	△21
中間包括利益	789	3,239
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	789	3,239
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,098	3,729
減価償却費	1,564	1,566
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	3
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△3	24
受取利息及び受取配当金	△200	△214
支払利息	186	192
為替差損益(△は益)	△13	29
固定資産売却損益(△は益)	△1	△1,020
売上債権の増減額(△は増加)	167	590
契約資産の増減額(△は増加)	4	△257
繰延及び前払費用の増減額(△は増加)	239	281
貯蔵品の増減額(△は増加)	296	191
仕入債務の増減額(△は減少)	△604	△141
契約負債の増減額(△は減少)	△79	△212
未払費用の増減額(△は減少)	28	△21
未払又は未収消費税等の増減額	32	△35
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△18	32
その他	△412	148
小計	2,291	4,888
利息及び配当金の受取額	189	193
利息の支払額	△178	△193
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,825	849
営業活動によるキャッシュ・フロー	477	5,738
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,022	△1,386
固定資産の売却による収入	0	1,054
投資有価証券の取得による支出	—	△50
長期貸付けによる支出	△1,108	—
その他	△4	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,135	△368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△180	—
長期借入れによる収入	2,049	5,307
長期借入金の返済による支出	△1,849	△4,973
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△4,442	△283
その他	△4	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,427	47
現金及び現金同等物に係る換算差額	747	△446
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,337	4,970
現金及び現金同等物の期首残高	20,576	13,980
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,239	18,950

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	10,675	1,973	2,294	14,943	—	14,943
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	14	14	△14	—
計	10,675	1,973	2,309	14,958	△14	14,943
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△39	106	1,281	1,347	△495	852

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△495百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△495百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	12,623	1,910	2,162	16,696	—	16,696
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	15	15	△15	—
計	12,623	1,910	2,178	16,712	△15	16,696
セグメント利益	2,098	148	1,072	3,319	△494	2,824

(注) 1. セグメント利益の調整額△494百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△494百万円あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

連結子会社(DELICA SHIPPING S.A.)において、2024年10月18日に所有船舶1隻(船名 MV KEN RYU)の売却及び2024年11月1日に所有船舶2隻(船名 MV KEN MEI、MV KEN TOKU)の売却をそれぞれ決定いたしました。これらにより、当連結会計年度に固定資産売却益として3,137百万円を計上する見込みです。

譲渡資産の種類

ばら積み貨物船

譲渡の理由

船舶ポートフォリオの見直しのため。

譲渡の時期

船舶引渡日 2024年11月～12月

その他

預託金入金を停止条件として社内決議の後、契約を締結し、預託金入金を確認の上、売船を決定しました。

MV KEN RYU

- ・社内決議
2024年10月15日
- ・契約締結
2024年10月16日
- ・預託金入金確認及び売船決定
2024年10月18日

MV KEN MEI、MV KEN TOKU

- ・社内決議
2024年10月18日
- ・契約締結
2024年10月18日
- ・預託金入金確認及び売船決定
2024年11月1日